

環境再生事業に係る 海外向けの発信について

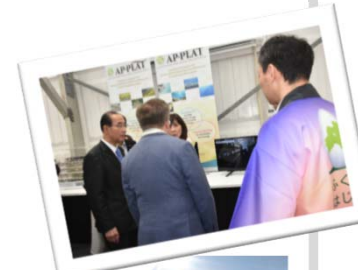
令和元年11月
環境省



①G20軽井沢会合における情報発信

☺ 知ってもらう

- ・ 2019年6月に軽井沢で開催された「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」時に、展示ブースを設置。
- ・ 各国の首脳や政府高官に英訳パネルを使い、福島環境回復・再生事業の現状について説明。
- ・ 「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料」の英文版について、参加国にデータ提供。



🍴 食べてもらう

- ・ 会合のコーヒースタンドや国主催のレセプションで、福島県産のお茶菓子や日本酒等の提供。



②基礎的で包括的な情報の提供

☺ 知ってもらう

【ウェブサイト】

- ・英語版ウェブサイト、“Environmental Remediation” (<http://josen.env.go.jp/en/>) の作成、福島環境再生の進捗状況をアップデート（今回の台風19号への対応についても英訳して記載）。
- ・統一的な基礎資料（英語版）のHP (<http://www.env.go.jp/en/chemi/rhm/basic-info/index.html>) を作成。

【インフォメーションセンター（海外訪問者の受入れ）】

- ・環境再生プラザ（福島市）
環境再生に関する歩み
- ・中間貯蔵工事情報センター（大熊町）
中間貯蔵施設について情報提供
- ・リプルンふくしま（富岡町）
特定廃棄物に関して説明

【パンフレット、ビデオによる広報】

- ・環境回復や放射線等についてのパンフレットを英訳し、イベント等で配布（図1・2）。また、テレビ放映された番組を英訳し、Webに掲載。
- ・統一的な基礎資料（英語版）を在日大使館（49カ国・地域）・在外公館（22カ国・地域）へ配布。IAEA（2019年9月開催）の参加者や国際学会関係者等に配布。
- ・在韓日本大使館HP、国際機関のHPへリンクし、英語版HPを周知（図3）。

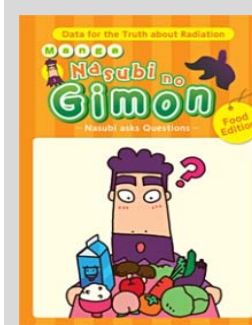


図1



図2



図3

🚶 来ってもらう

- ・令和元年6月に全線開通した「みちのく潮風トレイル」について、英語版HPやパンフレットを作成。パンフレットは名取トレイルセンター（写真右）やビジターセンター等で配布。

